

農福連携 マッチング 事例集



とちまるくん



ナイチュウ

農福連携の取組

農福連携とは、障害者等の農業分野での活躍を通じて、自信や生きがいを創出し、社会参画を促す取組のことです。

農福連携の取組によって、「労働力が足りない」農業者 **農** と「働く場や収入を確保したい」障害者福祉施設 **福** の双方の課題を解決でき、障害者等が活躍できる共生社会の実現を目指すことができます。

また、農業には「食糧の供給」としての役割の他にも、障害者等が農作業に携わることによって、体力の向上、生活習慣の安定、精神の安定、責任感の向上等といった身体的、心理的な効用が期待できます。

栃木県では、特に、**農** と **福** が取り組みやすい、農作業の受委託（施設外就労）に注目し、推進しています。

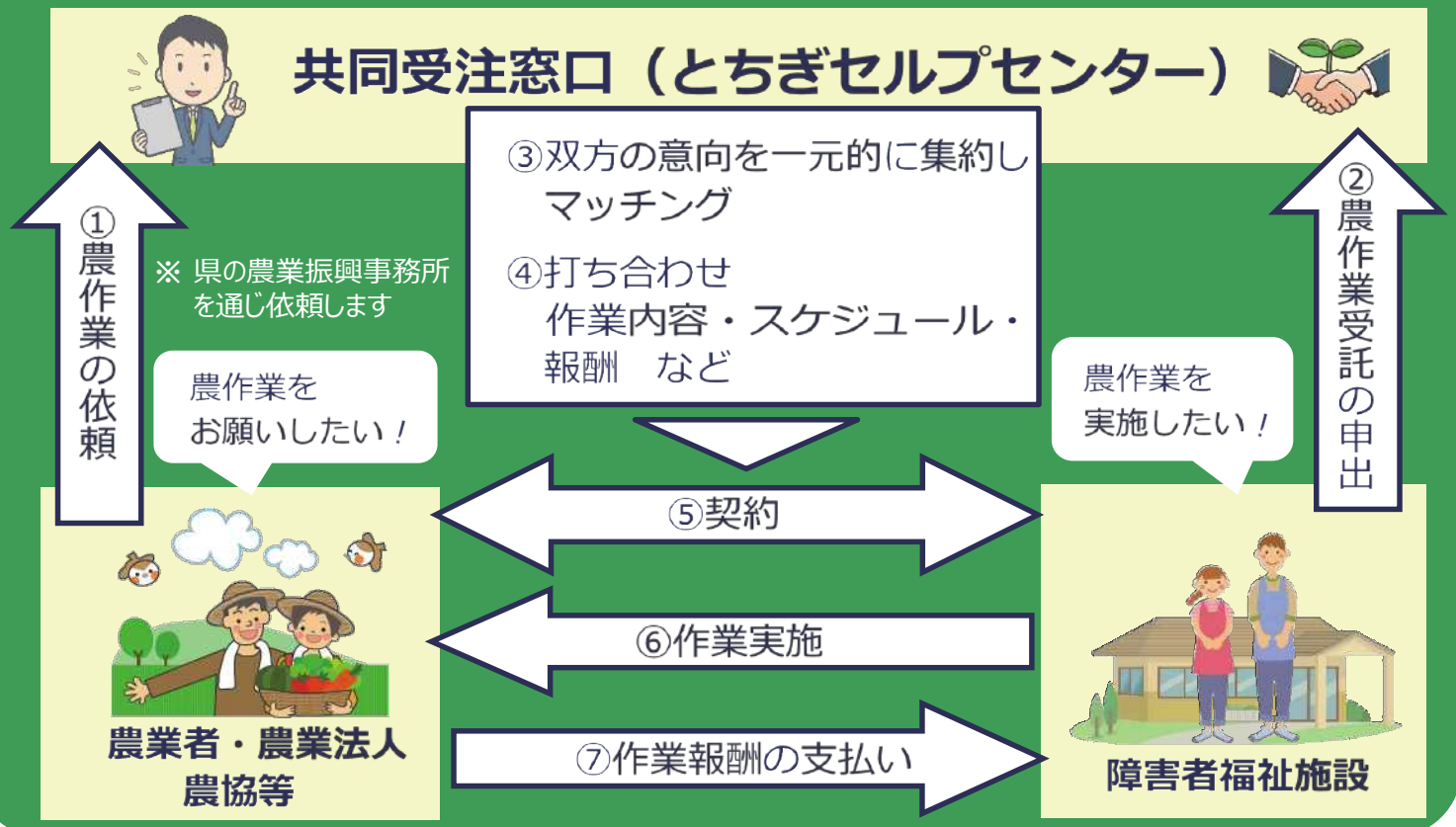
本パンフレットでは、これまでの農福連携マッチング事例や県内の先進的な取組を紹介しします。

農福連携マッチング事業

栃木県では、農業分野への障害者就労を促進するため、「とちぎセルフセンター」を核に、**農** と **福** 双方の意向を一元的に集約し、適切な連携先を紹介する農福連携マッチングを進めています。

※農福連携マッチングに関するQ&Aは9～10ページ、お問い合わせ先は裏表紙に記載

農業と福祉のマッチングの流れ



農福連携事例①



『除草作業』

畑に植えられた作物の周辺に生えている雑草を手や鎌で除去する作業です。作物の成長を妨げる雑草を取り除く大切な作業です。

農福連携マッチング事業の中でも、最も多くの連携が図られている作業です。



気温が高くなると、雑草が大きくなるのが早くなります。この期間は農作業も忙しく、除草作業まで手が回らないため、とても助かっています。



除草により作物の周りがきれいになることに、障害者は達成感を感じています。



まず、簡単な作業から連携を考えてみましょう。



農福連携事例②



『畑の石拾い作業』

農業者が耕した後の畑を歩きながら、大きな石を拾っていきます。拾い忘れのないように、ていねいに作業をします。



(株) 栃の木食品 (高根沢町)



ユーファーム (株) さくら事業所 (さくら市)



この畑は石が多いので、ねぎの栽培に苦労していました。ていねいに拾ってもらって助かっています。



こういった単純な作業を得意とする障害者も多いので、ありがとうございます。また、一度に大人数の障害者が作業できるので、施設としても助かります。



農業者は、単純作業がないか検討してみましょう。



農福連携事例③



『なしの^{せんていし}剪定枝・落ち葉拾い』

なしの収穫後に剪定した枝や落ち葉を拾い集めます。株元の落ち葉も一枚一枚ていねいに拾います。

農 熊倉氏（鹿沼市）

福 希望の家（鹿沼市）



障害者との会話がとても楽しいです。休憩時間を一緒にすごし、できるだけコミュニケーションをとることを心がけています。



障害者は熊倉さんのところに行く作業日をとても楽しみにしています。



農業者と障害者との密なコミュニケーションが障害者のやる気を引き出します。



農福連携事例④



『白小豆の選別作業』

白小豆をふるいにかけて、ふるいに残った白小豆の中から見本に従い、黒く色がついていたり、形が不揃いな白小豆をピンセットで取り除きます。

農 松本氏（鹿沼市）

福 CCVウェルフェア（鹿沼市）
のはら園（那須塩原市）



年を取るとともに、細かい白小豆を見て選別するのが大変になっているので、とても助かりました。



細かい作業が好きな障害者や複雑な作業が苦手な障害者、それぞれの特性を生かし、楽しく作業に取り組んでいます。



農作業には、障害者福祉施設に農産物を持ち帰ってできる作業もあります。



農福連携事例⑤



『にらの捨て刈り作業』

柔らかいにらを収穫するために、一度固くなったにらを刈り取る作業です。鎌を使って地面スレスレで刈っていきます。

農 坂本氏（上三川町）

福 上三川ふれあいの家ひまわり（上三川町）



慣れない鎌の使用に不安がありましたが、今では安心して任せることができます。



当初、障害者は慣れない作業のため速度がゆっくりでしたが、同じ作業を根気よく繰り返すことで、徐々に作業が速くなっていきました。



農業者は、時間や作業量に余裕を持った依頼をしましょう。



農福連携事例⑥



『トルコギキョウの^{せいし}整枝作業』

トルコギキョウの収穫は年2回行います。1回目の収穫後、余計な芽を取り除き、2回目の収穫に備えるのが整枝作業です。

農 （株）アティックファーム（佐野市）

福 桃源舎（足利市）



汗をかきながら、黙々と手を動かし、集中する姿に感心させられます。



障害者は、中腰での作業に苦戦していましたが、ダンボールを敷いて、膝をつくことで、無理なく作業を続けられるようになりました。



作業状況に応じて、より楽にできる工夫をすることも重要です。



農福連携事例⑦



『いちご株のランナー除去・葉かき作業』

いちごの株から生えてくるランナー（つる状の茎）と古い葉を取り除く作業です。生育を維持し、病気の発生を予防する効果があります。

農 （株）新日本農業（小山市）

福 来夏（小山市）



収穫が忙しくなると、ランナー除去や葉かきまで手が回らなくなるので、とても助かっています。



当初、障害者はランナー除去に限定して行い、ゆっくりと作業していました。徐々に慣れていき、現在ではランナー除去と葉かきの双方を行えるようになりました。



農業者は、複数の作業や見極めが必要な作業を要求せずに、作業を分割し、単純化してお願いしましょう。



農福連携事例⑧



『だいこんの収穫・調製作業』

収穫時期を迎えただいこんを収穫します。土から掘り上げる作業、洗浄する作業、箱詰めする作業を行っていきます。

農 須藤氏（佐野市）

福 桃源舎（足利市）



2週間ほぼ毎日作業に来てもらって、とても助かりました。



他の作業が少ない時期だったので、ちょうどこの話をいただけて良かったです。



期間集中的に忙しい農業者と、期間的に仕事が少ない福祉施設向けの短期間集中型の連携事例もあります。



農福連携事例⑨



『野菜の種まき作業～収穫作業』

野菜の種まき作業から、除草作業、収穫作業、袋詰め作業など年間を通し、様々な作業を行っています。

農 のざわさんち（宇都宮市）

福 しのいの郷（宇都宮市）



人手が足りていないので、とても助かっています。障害者とは休憩時間に一緒にお茶を飲むなど、コミュニケーションを大切にしています。



障害者は「やりがいがあって楽しい!」、「のざわさんちに行くのが楽しみ!」と話しており、いきいきと農作業に取り組んでいます。



農業者と福祉側の密なコミュニケーションにより、年間を通した連携を実現しています。



農福**商**連携事例



『加工いちごの収穫作業』

いちご農家は5月中旬以降、苗作りなどの作業が忙しくなるため収穫に手が回りません。そこで、加工業者と連携し、福祉施設の障害者に加工用いちごとして収穫してもらいます。

農 JAアグリうつのみや（宇都宮市）

福 ひとつの花（宇都宮市）、ポラリス（大田原市）

商 フタバ食品（株）（宇都宮市）



栃木県産いちごを加工用として使いたかったのですが、手に入りやすく諦めていました。農福連携のおかげで、たくさんの加工用いちごを収穫できたので、栃木県産いちごを使用した商品の開発を進めることができます。



農福商連携により、栃木県産いちごの新たな可能性を生み出しました!



農業生産法人が福祉施設を立ち上げた事例



いちごの里ファーム



作業受委託

(生産・加工・販売)

(小山市)

いちごの里めぶきファーム



観光いちご園を経営する(株)いちごの里ファームは、2018年10月に障害者福祉施設(一社)いちごの里めぶきファームを設立しました。めぶきファームの障害者がいちごの収穫作業やジャムなどの加工品作り、販売をしています。生産～加工～販売と幅広い作業を年間を通して用意することで、障害者の適性や能力に合わせた作業を提供することができます。



できる限り、障害者の適性や能力に合わせた作業を用意することで効率があがります。



民間企業が農福連携に取り組んだ事例



マルホ建設

ポラリス



農作業受委託

農作業指導



マルホファーム



農地貸借

(大田原市)

地域農家



地域密着型の建設会社であるマルホ建設(株)が、農家の労働力不足や、障害者や高齢者に雇用の場がない等といった地域の課題を解決するため、障害者福祉施設ポラリスを設立しました。地域農業の担い手として設立した農業生産法人マルホファームと連携を図ることで活動の幅を広げています。農作業を中心とした障害者福祉施設とすることで、地域農家と密着した農福連携を実現しており、地域の活性化に繋がっています。



農福連携は、地域の活性化に繋がる可能性を持った取組です。



先進事例 『清原地区ユニバーサル農業研究会』



ハート飛山



地域農家

農作業受委託

(宇都宮市)

2014年頃からハート飛山と清原地区の農家が農福連携を行っています。地域農家の様々な農作業依頼にハート飛山の障害者が応えています。

共同でプチ・マルシェきよはらという直売所を設立し、定期的に農福連携で育てた野菜や果物、障害者が作ったパンや焼き菓子を販売しています。



双方にメリットがある関係性が長く続くポイントです。



先進事例 『ANSOKU農と福祉をつなぐ会』



ブローニュの森



地域農家

両毛病院

農作業受委託

(安足地区)

2015年橋本氏ら4件の農家と障害者福祉施設のブローニュの森、両毛病院がANSOKU農と福祉をつなぐ会を発足しました。ブローニュの森が事務局となり、運営会議を年3回と総会を行い、お互いの意見を聞きながら農福連携を行っています。

当初はハウス内の軽作業から始まり、今では様々な農作業を受委託しています。



お互いの意見を調整することで、長期にわたる農福連携に繋がります。



農福連携マッチングQ&A

共通Q&A

Q 農福連携マッチングの「農作業の受委託」について教えてください

A 農業者と障害者福祉施設（以下、福祉施設）との間で「業務委託契約」を結び、福祉施設が農業者から受託した農作業を行います。農業者の現場で福祉施設が農作業を行う場合、福祉施設からは障害者数名に対し福祉施設職員が少なくとも1名同行します。

Q 作業報酬や作業時間等の契約に係る調整は、スムーズに行えるのでしょうか？

A とちぎセルフセンターが、契約内容の調整等について、農業者と福祉施設双方と連絡をとったり、双方が介した事前打ち合わせを行います。双方の要望やこれまでの事例等を踏まえ、適切に提案しながら調整します。

Q 作業料金はどのように決定するのでしょうか？

A 農業者の方は、希望する額が想定できれば、指定された作業依頼書に記載願います。検討がつかない場合は、福祉施設の同意の上、契約前にお試して短時間作業を実施してもらった上で判断いただくことも可能です。最終的には農業者と福祉施設の合意により決定いたします。

Q 1日の作業時間は何時間になりますか？

A 作業時間は、福祉施設との相談となりますが、福祉施設の運営や移動時間等を考慮すると平日の午前10時頃～午後3時頃の時間帯で行うことが一般的です。双方の合意があれば、朝の時間等の作業も可能です。

Q 農作業において、障害者への説明や指導は誰が行うのですか？

A 障害者への農作業の指導は、福祉施設職員が行うこととなります。このため、農業者は福祉施設職員に対し、事前に農作業を指導し、福祉施設職員は障害者に農作業を指導できるよう、事前に作業内容を理解することが必要です。

Q 万一、作業者にケガや事故が発生した場合の対応はどうなりますか？

A あらかじめ、福祉施設には保険に加入していただくことをお願いしています。

農業者Q&A

Q ここで言う福祉施設とは、どのような施設ですか？

A 一般就労が困難である障害者に対する就労および就労訓練の機会を提供する事業所で、その種類は大きく分けて3つあります。

- **就労移行支援事業所**

企業等へ一般就労を希望する障害者に対し、就労に必要な知識及び技術の習得等の支援を行います。利用期間は原則2年間です。

- **就労継続支援A型事業所**

企業等で雇用されるのが困難であり、就労を希望する障害者に対し、基本的に雇用契約に基づき就労機会及び就労訓練の機会を提供します。利用期間の制限はありません。

- **就労継続支援B型事業所**

A型事業所と同じく就労の支援を行いますが、障害者と雇用契約は締結されません。また、利用期間の制限はありません。

福祉施設Q&A

Q 福祉施設職員や障害者に農作業の経験がなくても参加できますか？

A 農福連携マッチングにおいては、高い技術を要する作業はありません。ただし、体力面や集中力など、作業内容により適正がありますので事前にご相談ください。

また、必要に応じ、事前打合せ等とちぎセルフセンターや県農業振興事務所職員等がサポート・アドバイス等をいたします。

問い合わせ

福祉施設の皆様

とちぎセルフセンター TEL : 028-622-0433

保健福祉部障害福祉課 TEL : 028-623-3020



農業者の皆様

農政部農政課 TEL : 028-623-2288

河内農業振興事務所 TEL : 028-626-3076

上都賀農業振興事務所 TEL : 0289-62-5236

芳賀農業振興事務所 TEL : 0285-82-4720

下都賀農業振興事務所 TEL : 0282-23-3425

塩谷南那須農業振興事務所 TEL : 0287-43-1252

那須農業振興事務所 TEL : 0287-23-2151

安足農業振興事務所 TEL : 0283-22-2355



栃木県ホームページ
農福連携（ユニバーサル農業）



Facebookページ
とちぎユニバーサル農業

栃木県

保健福祉部障害福祉課

農政部農政課

令和元(2019)年11月